

新年おめでとうございます。輝く太陽に気持ちも新たに6年を迎えました。これから始まる一年が、みんな元気で幸せに過ごせるよう心から願っています。

「おはよう」と「おめでとう」2つのあいさつで正月休み明けがスタート。楽しかった正月を経験した子どもたちが、晴れ晴れとした笑顔で登園してきて、静かだった園舎も元気な声でいっぱいになりました。いつも通りのこども園、子どもたちの声が聞こえるって、こんなに幸せなことなのだと、今年も感謝で始まります。

赤ちゃんから年長まで、いろいろな年齢の子どもたちが、混ざり合っただけで暮らす時間と空間を大事にできるところがこども園だと思っています。何気なく繰り返される日常の暮らしの中で、大きい子や小さい子が繋がり合いながら混じり合っただけで生活していく時間は当たり前のように本当に大事。その中で、言葉で伝えることのできない優しさや慈しみ合う気持ちが生まれ膨らんでいく。つながりあって育つ。子どもたちの成長に何が大切かを見間違えることなく、年度の締めくくりに時期への心構えを持って臨んでいきたいと思ひます。

0歳児・・・園生活のリズムを取り戻しながら、冬を健康に過ごす

1歳児・・・遊びや生活の中で言葉を使うことを楽しむ

2歳児・・・お正月遊びや伝承遊びを楽しみながら友達関係を深める

3歳児・・・ルールのある集団遊びを楽しむ

4歳児・・・友達と言葉で思いを伝えながら遊ぶ

5歳児・・・友達同士互いに認め合いながら生活する



1月の仏教目標 和顔愛語 (わけんあいご) ...寒さに負けず 仲良く遊ぼう

新しい年を迎え、過去の一年一年を振り返りながらも、気持ちを新たにしていく時です。「新しい年」と言っても、人間の一生は一年一年で区切りが付き、印刷されるわけではありません。

一年の間にも、喜びや悲しみ、体験してきたこと一つひとつが積み重なり、その一年がまた人生で積み重なっていくのです。そしてそれぞれ異なる一人ひとりの積み重なりが交差しあって、私たちは、向き合い、支え合いながら生きています。

「和顔愛語」は笑顔と優しい言葉を相手に施していく行いです。柔らかな表情と、相手に寄り添い思いやる言葉。それによって相手が少しでも救われ安心できることこそが、施しとしての行いになります。

互いに和顔愛語を施し合いながら支え合い、相手に安心を与えることが、この行いの最終目的ではないでしょうか。

和顔愛語の行いが、人と人が支え合う架け橋となることを理解し、自分の日常生活の中にこの仏教の心を行いとして常に保ち続けることが、仏教に縁のあった人に期待され、実践してもらいたいのです。

子どもたちとの関わり合いのなかに、この和顔愛語による支え合いと安心を、具体的に共有できる体験がたくさんある、そんな一年にしていきたいと思ひます。



1月の行事予定

1号認定 冬休み

12月25日 (月) ~

R6年1月8日 (月)

1号認定 始業式

R6年1月9日 (火)

10日 (水) 鏡開き・避難訓練

11日 (木) 幼児体育  
(にじ・そら組)

16日 (火) 誕生会 (完全給食)

25日 (木) 英語教室  
(にじ・そら組)

26日 (金) 完全給食

30日 (火) 佐保合同幼児体育  
(そら組)

衣服の調節 できるかな

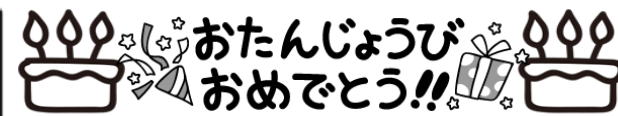
エネルギーの代謝が盛んな子どもたち。厚着のまま遊んでいると、戸外室内にかかわらず冬でも汗をかいています。「暑くなったら服を脱ぐ」「寒くなったら服を着る」ということをその都度知らせ、少しずつ自分で衣服の調節ができるよう促しています。ご家庭からも時季にあった衣類を着用し登園するようご協力をお願いします。

思い切り! 紙遊び

室内に籠りがちな冬は、ストレスを発散させる紙遊びがおすすめです。包装紙や新聞紙などビリビリと破くことで手に伝わる感触や音が面白いです。たくさん破ったらギョツとまるめてボール遊びへ。箱などを使って玉入れなど、体も心も発散しましょう。

1月生まれのおともだち

おめでとう1月生まれさん。みんなは新しい年が始まるドキドキワクワクする1月に生まれたのですね。春光の陽光が穏やかにみんなを包んでいたのですよ。希望の言葉が似あう1月生まれさん。おめでとう。



今年の干支は先頭から数えて5番目の『辰年』です。年神様の話を聞いた動物たちが、1月1日の朝、神殿にやってきた順に、1年ずつその年を任されるようになったという話があります。辰(龍)は、人が考えた架空の動物ですが、神話や民話によく登場します。空高く昇る辰のように、高い目標を持ち、強くたくましく、勢いのある一年でありたいと思ひます。

12 干支



●これからの季節は、胃腸炎やインフルエンザなどの感染症が流行する季節です。園でも、うがい・手洗いなどの感染予防を心掛けていますが、家庭でも感染予防を心掛けて下さい。  
●日暮れが早く、朝晩の寒さが厳しくなり、路面の凍結も心配されます。駐車場を利用する際は、徐行や枠内駐車などマナーを守り利用するようよろしくお願いいたします。また、登降園時、お子さんから目を離さず手をつないで歩くようお願いします。

本年もよろしくお願ひいたします。